

第9回現地活動報告（日程2011.6.3～6.5）

株式会社危機管理教育研究所

報告書作成：クーランマラン福田

1：日程 平成23年6月3日（金）～5日（日）

2：実施 東京より4名、現地ボランティア2名 計6名の参加

3：行程 東京より乗用車1台、夜行バス、現地ボランティアの乗用車1台。

6月3日（金）17：30 目黒 発

20：00 上河内SA 着（給油、休憩）

6月4日（日）00：30 長者ヶ原SA 着（給油、休憩）

01：30 一関ICで一般道へ

県道19号～R343～R45経由で一路大船渡市へ

03：00 下富岡公民館 着（約4時間睡眠）

08：00 下富岡公民館 発

08：15 大船渡市内にて現地ボランティアと合流

09：00 キャンプ場モビリア避難所 着

↓ 支援物資の仕分け【360分】

16：00 キャンプ場モビリア避難所 発

16：30 米崎小学校 着（近況聞き取りの為に訪問）

17：00 五葉温泉 着（入浴）【60分】

20：00 下富岡公民館 着

6月5日（日）06：50 下富岡公民館 発

07：00 JR盛駅着（夜行バス到着のスタッフをピックアップ）

07：30 キャンプ場モビリア避難所 着

支援物資の仕分け【210分】

11：00 キャンプ場モビリア避難所 発

11：30 碁石海岸 着（昼食）【60分】

13：15 米崎小学校 着（近況聞き取りの為に訪問）

13：40 米崎小学校 発

14：00 福祉の里 着（支援物資一部搬入）

15：00 福祉の里 発

17：00 巖美溪 着（休憩）

18：00 巖美溪 発

18：45 JR一関駅 着→解散

4：訪問先

- ①キャンプ場モビリア避難所 ・支援物資の仕分け
- ②福祉の里 ・支援物資の提供
- ③赤崎町大立 ・支援物資の提供
- ④米崎小学校 ・近況聞き取りの為に訪問

5：支給品

福祉の里：男女衣服、子供衣服、子供用品、手縫いエプロン、洗面用品、文庫本、
文具、ドライヤー等

赤崎町大立：クッション、シーツ、バスマット、バッグ類、お弁当箱、老眼鏡、軍手
タオル、レジヤースhirt、うちわ、箸スプーン食器類、水、カップ麺

幼稚園：絵本40冊

6：概要

①キャンプ場モビリア避難所（陸前高田市）

～活動概要～ 支援物資の仕分け作業

～詳細～

岩手県陸前高田市のキャンプ場モビリア避難所では、近々仮設住宅入居者に分配する食料以外の支援物資の仕分け作業が終了しておらず、その仕分け作業のお手伝いを行いました。

その支援物資は、モビリア近くの公民館に保管されており、前回5月4日時点で仕分け作業のお手伝いをしたままに近い状態でした。前回の仕分けでは主に日用品を担当致しましたが、数量的に半分以上を占める衣服関係が全く仕分けされていない状態でした。この避難所にはボランティアが入らないらしく、物資担当の女性が一人いるだけでした。初日はまず衣類を搬出して仕分け、男児衣服、女児衣服、女性衣服（防寒着、上着、ズボン類、下着）、男性衣服（防寒着、上着、ズボン類、下着）、毛布布団類という種類ごとに分別をしました。数量的には女性衣服が一番多く、子供用衣服も女児の方が多かったです。また、防寒着や上着類は多かったのですが、使い回しのできない下着類が男女子供ともに不足しているようでした。

初日に子供服と男性衣服の半分の仕分け終わらせ、二日目は一番数の多い女性衣服の仕分けをメインに活動しました。初日には大体の目処が付いていたので、二日目は午前中にて終了いたしました。

～避難所の様子～

モビリアの敷地内に完成していた長屋方式のプレハブ仮設住宅以外に、元々はオートキャンプサイトだった場所に、戸建方式の仮設住宅の建設が新しく始まってい

ました。モビリア避難所にいた方々は長屋方式に入り、後から追加建設の決まった戸建方式の仮設には、他の避難所から来た方が入居予定のようでした。やはり、みなさん戸建方式が希望でしたので、その点が少し気になりました。

新しくできる戸建方式の仮設住宅も抽選は終了しているらしく、下見に来ていた家族などもいらっしゃいました。

また、6月10日からモビリア敷地内でイオンスーパーセンターが仮設店舗で約3カ月間、衣食住に関わる約2000品目を販売しているようです。6月下旬より、近隣にも移動販売車を巡回させる予定とのことでした。この周辺には商店も少ない上に被災店舗もあり、車など移動手段を持たない方はモビリアから出て買い物へ行く事も難しい状態でした。スーパー開店後には、他所から車で買い物に来ている方もいました。



②福祉の里（大船渡市）

～活動概要～ 支援物資の提供：男女衣服、子供衣服、子供用品、手縫いエプロン、洗面用品、文庫本、文具、ドライヤー等

～詳細～

こちらの福祉の里では、支援物資の分配が行われています。今までは施設内の体育館を物資保管場所として使用していましたが、地震の影響で天井の一部などに破損が見られ、安全の為に一部を除いて使用禁止となっていました。今後の物資保管などは、新たに設置するコンテナなどに移動するそうです。危機管理教育研究所からの物資は、福祉の里の入口ホールにて分配が行われておりましたので、そちらに提供させて頂きました。



③赤崎町大立（大船渡市）

～活動概要～ 支援物資の提供：クッション、シーツ、バスマット、バッグ類、お弁当箱、老眼鏡、タオル、軍手、レジャーシート、うちわ、箸スプーン食器類、水、カップ麺

～詳細～

こちらの地区では仮設住宅は既に完成しており、入居も完了しておりました。この地区は高台にある3軒だけを残して、公民館を含む全ての住宅が流されたり浸水しており、みなさんテント生活を送っていました。屋外にブルーシートを張って、薪ストーブとテーブルを置いて食堂や集会所にしておりましたが、それも解散していました。ここは大きい避難所ではなく、なかなか支援物資が行き届いていないとのことでしたので、こちらに一部を提供させて頂きました。



④米崎小学校（陸前高田市）

～活動概要～ 近況聞き取りの為に訪問

～詳細～

今回こちらでは特に活動は致しませんでした。危機管理教育研究所の活動でお会いした避難所や校庭に建設された仮設住宅の自治会長さんなどにご挨拶にお伺い致しました。こちらでは未だに水道は復旧せず、用水路から水を引いて洗濯をしていました。また、圧力の掛かる水道ではない為、全自動洗濯機は使用できず、古い二層式洗濯機を使用していました。

7：その他

- ・五葉温泉（大船渡市）：

こちらは車で移動が必須ということもあり、避難者よりも支援団体などが多く利用しているようです。

- ・基石海岸（大船渡市）：

観光や散策で来られている方の姿をちらほらと見掛けました。お土産物屋などでも、全くお客さんがいないという状態ではありませんでしたが、多いというわけではありませんでした。海には、まだ漂流物を見掛けますが、それ以外は普段と変わらない風景のようです。

- ・巖美溪（一関市）：

こちらは内陸の観光地でしたが、近隣の宿泊施設には警察（警視庁、神奈川県警、京都府警）の方が多く宿泊されているようです。お土産物屋の方に聞いたところ、沿岸部で被災された方が結構来られているようです。被災地ではやはり魚の腐敗臭もさることながら、精神的にあまり良くないということで、自然や川の流れる所で心を癒されているようでした。

以上